

なぜ、共産党は政党助成金を受け取らないのですか？

阿寒で集まりを開いたときに「選挙で、『共産党はなんで政党助成金もらわないの？頑固にならずに、法律なんだからもらったらいいのに』と言われたの」と発言された方がいました。確かに、そう思っている方もいらっしゃると思います。

「共産党はお金があるからもらってない」わけでも意地になっっているわけでもありません。発表される共産党の収入はかなり大きな額です。しかし、それは赤旗などの発行経費を差し引く前の収入。実収入はかなり苦しいのも事実です。

国が政党に代わって国民一人一人に強制して2500円の政治献金を集めるものだから・・・

共産党は、政党助成金が憲法違反だから受け取りません。憲法違反というのは、国民がどの党を支持しているようがいまいが、国民の意思を無視して強制的に政治献金を政党に代わって集めるからです。

政党助成金で一番被害を受けているのは、「受け取らない共産党ではなく、強制的に政治献金させられる国民」です。国民の思想信条の自由、どの政党を支持するのも自由。これを正面から踏みこむ



JALの不当解雇と闘うパイロットと客室乗務員

御巣鷹事故など、安全を軽視して破綻した日本航空。再建だといって



パイロット81人、客室乗務員84人を解雇しました。解雇された人の大半が安全軽視の会社のやり方を批判してきた労組組合員。組合攻撃の解雇でした。当時の稲盛会長も、「経営上解雇の必要はなかった」と認めています。解雇して12年。会社は解決の意思を見せ、



業務委託契約で地上職などを斡旋していますが、原職復帰、損害補償は否定。新たな組合 JHU が結成され、闘いはいままも続いています。

るからです。共産党が政党助成金を受けたら、国が共産党を支持していない人からも強制的に集めた政治献金を、ちゃっかりもらってしまうことになります。こんなことはしたくありません。

「政党助成金を続けるよ」、「政党助成金依存症」になっちゃおうと、苦勞しないで大金が入ってくるので、政党はお金を集める活動をさげ、「政党助成金依存症」みたいになっちゃいます。つまり、政党助成金がないと政党が運営できない体質になるのです。共産党が政党助成金をもらう場合11億円になります。しかし、共産党が個人から集めている寄付は80億円。政



6月13日、畠山和也元衆議院議員が釧路で街頭演説しました。「私の娘はいま高3、進学希望で、先日奨学金の書類を持ってきました。いくら借りたいか、自宅通学か自宅外通学か、いろいろ書いた後に、どうやって返済するかを書く欄がありました。まだ受験もしていないのに。ひどすぎませんか。こうやって青年の夢を摘み取っていくのが今の政治です。」



政党助成金をもらわないからこそ廃止のために国民と手をつなげる

政党助成金の一番の被害者は国民です。そして共産党は政党助成金をもらっていないからこそ「政党助成金をなくそう」と手をつなぐことができます。政党助成金をもらい続けていると、結局、政党助成金あつての党財政となつて、断ち切ることができなくなります。国政選挙で共産党が伸びてこそ、国民一人2500円の強制的な政治献金を廃止する政治が生まれます。